

令和元年度事業報告書



公益財団法人 帆船日本丸記念財団

目 次

1	令和元年度事業概観等	2
2	帆船日本丸事業	3
3	横浜みなと博物館事業	6
4	みなとの賑わい創出事業	10
5	緑地管理・活用及び研修施設事業.....	11
6	集客増に向けた重点取組	13
7	組織運営の質的向上に向けた取組.....	15
8	事業一覧表	17

1 令和元年度事業概観等

(1) 施設概要

- ア 施設名
日本丸メモリアルパーク
- イ 所在地
横浜市西区みなとみらい二丁目1番1号
- ウ 対象施設等
 - (ア) 帆船日本丸
総トン数 2,278t
 - (イ) 横浜みなと博物館
7,155.31 m²
 - (ウ) 研修施設
873 m²
 - (エ) 緑地
38,100 m²
 - (オ) その他
タワー4棟

(2) 施設管理者

- ア 共同事業体
帆船日本丸記念財団・JTBコミュニケーションデザイン共同事業体
- イ 代表団体
公益財団法人 帆船日本丸記念財団
- ウ 代表者
会長 金近 忠彦
- エ 所在地
横浜市西区みなとみらい二丁目1番1号
- オ 設立
昭和59年10月1日
- カ 指定管理者期間
平成28年4月1日～令和3年3月31日（第3期）

(3) 事業概観

令和元年度は第3期指定管理期間の4か年目であり、更なる利用者の拡大と一層のサービスの向上を目指し、職員一丸となって新たな魅力づくりとみなとの賑わい創出に向け、多様な事業に取り組みました。

平成30年度に引続き実施した帆船日本丸の大規模修繕工事及び新型コロナウイルス感染症の影響で2月末日から3月末日まで休館したため、対

前年度比では主要数値目標は減少しましたが、事業展開を工夫したことで、元年度主要目標において、日本丸メモリアルパーク利用者数及び小・中・高等学校の来校数を除く項目で目標を達成することができました。

元年度目標項目	実績 (昨年度実績)	目標	対前年比
帆船日本丸及び横浜みなと博物館の有料入場者数	74,279人 (84,333人)	66,000人	11.9%減
日本丸メモリアルパーク利用者数	1,387,576人 (1,564,667人)	1,630,000人	11.3%減
小・中・高等学校の来校数	546校 (579校)	636校	5.7%減
お客様満足度	98.9% (98.2%)	97%以上	0.7ポイント増
効率的な財政運営・人材育成及び風通しの良い職場作り	推進	推進	—

参考 指定管理者応募時事業計画書から

指定管理期間の目標（令和2年度）	
帆船日本丸及び横浜みなと博物館の有料入場者数	8万7千人
日本丸メモリアルパーク利用者数	150万人
小・中・高等学校の来校数	650校
お客様満足度	97%以上
指定管理料の削減	税抜き5%削減

2 帆船日本丸事業

帆船日本丸は船齢90歳となりました。国指定重要文化財として今後永く保存するため、職員による船体の整備、美観保持作業及び帆走艀装の整備を日々継続しました。また、平成30年度及び令和元年度の2か年で計画されていた横浜市の大規模修繕工事への協力を行いました。

公開事業においては帆船日本丸を活用した、来館者の参加・体験型の事業展開を図るとともに、市民の皆様には日本丸の事業活動をより理解していただけるよう努めました。加えて、昨年が続いて、各種講座等の開催や、船内展示の定期的な内容更新を行い、リピーターの確保に努めました。

大規模修繕工事終了後の2月29日から再オープンする予定でしたが、新型コロナウイルス感染症防止対策として、年度末まで閉館を延長しました。

(1) 保存事業

国指定重要文化財帆船日本丸の美しい姿を末永く保存するため、次の整備を実施しました。

ア 日常保守点検

- (ア) 観覧者通路・公開区域の安全点検、整備、美観保持
- (イ) 船体鋼材の発錆部整備及び船内真鍮磨き
- (ウ) マスト、ヤードその他帆走艫装の点検・整備
- (エ) 船体木部の点検・整備

イ 災害防止

- (ア) 乗船者、総帆展帆協力者及び甲板整備協力者の安全確保
- (イ) 船内防災センターにおける火災及び浸水並びに不法侵入者等に備えた24時間体制の集中監視実施

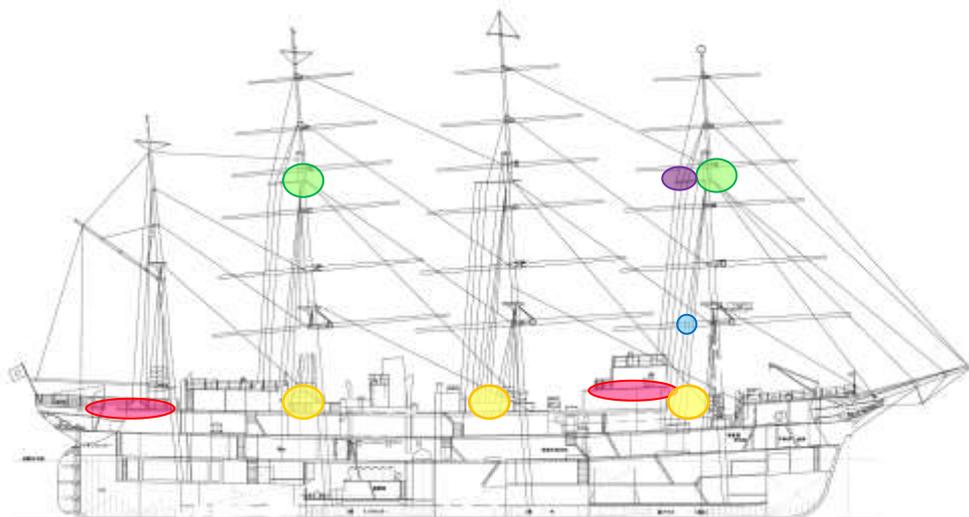
ウ 年次船体整備点検・整備

中間検査受検工事等

エ 大規模修繕工事（12月2日から2月28日まで）への協力

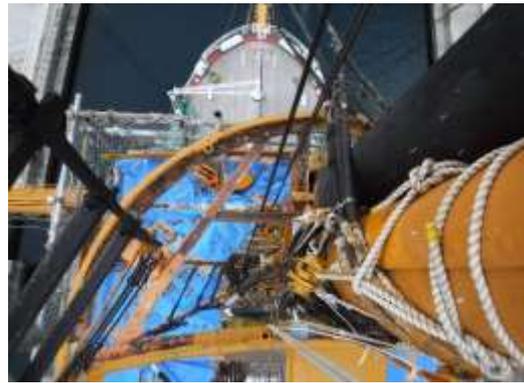
- (ア) 長船尾楼甲板及び船橋両ウイング各部木甲板交換 ●部分
- (イ) フォアマスト トップマストバックステイ新替え ●部分
- (ウ) フォア・ミズンマスト ゲルン台マストウェッジ新替え ●部分
- (エ) フォアマストゲルンボードスプレッター新替え及びゲルン台補修 ●部分
- (オ) フォア・メイン・ミズンマスト付きステイ及びシュラウドのサービングまき直し ●部分
- (カ) 長船尾楼甲板士官サロン天井補修
- (キ) 凹甲板防災センター床下補修
- (ク) 凹甲板右舷舷側天井補修
- (ケ) ファンネル頂部補修
- (コ) 機関室内タンクトップ塗装
- (サ) 士官サロン上部他スカイライトガラス交換

ミズンマスト メインマスト フォアマスト





各部木甲板交換・漏水部補修



フォアマストゲルン台補修



凹甲板防災センター床下補修



機関室内タンクトップ塗装

(2) 公開事業

日本丸船内を年間 209 日公開しました。公開日には、現役時代の日本丸乗船経験者等（ガイドボランティア）による無料ガイドサービスを行い、乗船者から好評を頂きました。

展帆ボランティアの協力による総帆展帆を年間 11 回、満船飾を 11 回行い、普段は見ることのできない帆船日本丸の美しい姿を来場者に御覧いただきました。

また、大学生ボランティアによる船内各所の飾り毛布展示の変更も 7 月と 10 月の 2 回行いました。

4 月 1 日から展示室②の船内展示を「セイルの材料及び部品と製帆道具展」に変更し、加えて、10 月 1 日から展示室①は「遠洋航海中の練習帆船の一日」と題し、星の高さを観測して自身の位置を求めるための六分儀や天測暦などを公開しました。さらに、特別イベントとしては、夏休み期間中の小学生向け自由研究教室では、日本丸のロープワークについて講義をし、夏休み特別講座では、「船の講座 滑車の働き」を開催しました。10 月 22 日には外部から講師を招いて「折り紙で日本丸を作ろう！」と題し、折り紙講座を行いました。11 月 9 日には、船長による「トールシップの帆走艀装」講座を、11 月 22 日には、大学へ「出張ロープワーク

講座」を開催しました。これらの活動を通して、市民の皆様から得られる知識や経験を共有していただき、日本丸の 100 年保存に対する理解を得られるように努めました。また、大規模修繕工事期間中の 1 月 26 日には、工事見学会を開催しました。



夏休み自由研究ロープ作成



トールシップの帆走艦装



折り紙で日本丸を作ろう！

(3) 青少年錬成事業

帆船日本丸における錬成事業（海洋教室等）は、訓練施設において様々な体験型訓練と団体生活を行うことにより、時間厳守、公德心、体力・精神力の向上、注意力、友愛、協調性、責任感及び積極性を習得させるとともに、海・船・港に関する理解と知識の増進を図ることを目的としています。令和元年度は 30 回（52 日）の海洋教室を実施し、海事思想の普及を図りました。海洋教室の実施に当たっては、実施団体と事前に訓練プログラムを調整し、可能な限り参加者の希望に沿ったプログラムを実施できるよう努めました。



甲板流し



カッター訓練



結索訓練



展帆訓練



親子海洋教室



高学年海洋教室

3 横浜みなと博物館事業

令和元年度は開館 30 周年、横浜開港 160 周年を迎えるにあたり、記念企画展をはじめ多彩な特別展示事業を実施しました。また、子供から大人、フ

ファミリーまでが、船や港、海に親しみ、関心を深めていただけるように、市民ボランティアとともに、展示案内や教育普及活動など体験的なプログラムを年間通して行いました。

平成 29 年度にオープンした柳原良平作品の日本で唯一の常設展示施設である、柳原良平アートミュージアムでは年 3 回の特集展示「ボクが好きな客船」（オープン 1 周年記念）、「海を見ながら…」、「十二支と宝船」を開催しました。

特別展示事業では、開館 30 周年記念展示「横浜みなと博物館の 30 年」、横浜開港 160 周年記念「写真でたどる横浜港の 10 年」、横浜みなと博物館開館 30 周年記念企画展「オドロキ！日本・海の世界と開発～海といつまでも」、同「港・横浜の 1980 年代 横浜港のシンボルができるまで」を開催しました。それぞれの展示への理解をより深めていただくため、展示室内でのミニトークや、クイズラリー、座談会などの関連事業を開催しました。



柳原良平アートミュージアム特集展示
「十二支と宝船」展示風景



写真でたどる横浜港の 10 年 展示風景



オドロキ！日本・海の世界と開発
～海といつまでも」会場入り口



港・横浜の 1980 年代 展示風景

(1) 常設展示事業

入館者に常設展示をより良く知り、楽しんでいただくために展示案内ボランティアによる展示案内、説明を毎日実施しました。また、学芸員が常設展示を深く掘り下げて分かりやすく解説する「学芸員のワンポイント展示解説」を引き続き実施して常設展示の魅力を伝え、リピーターの確保に努めました。展示の充実を図り、横浜港の最新の情勢を伝えるため、常設展示室に「クルーズポート横浜」のコーナーを新設、「横浜港操船シミュレーター」に新しいクルーズ船受け入れ施設である「新港ふ頭客船ターミナ

ル」の画像を追加するなど展示情報の更新を実施しました。

展示品のメンテナンスは、日常の職員・スタッフによる点検・保守や不具合の修理、定期保守点検を行い、良好な状態で見学できるよう努めました。

(2) 特別展示事業

特別展示事業では、春に、平成元年の開館から30周年を迎えた横浜みなと博物館の活動を紹介した開館30周年記念展示「横浜みなと博物館の30年」と、開港160周年を迎えた横浜港の直近10年間の動静を、埋立の進捗やクルーズ船来航などの写真を中心に紹介した、横浜開港160周年記念「写真でたどる横浜港の10年」を開催しました。続く夏には開館30周年記念企画展「オドロキ！日本・海の世界と開発～海といつまでも」を実施しました。日本の海の世界を守り、海の恵みを活かすメイド・イン・ジャパンの技術と知恵を紹介しました。関連行事では、「海といつまでもクイズラリー」「海洋研究開発機構横浜研究所見学会」、「海のプロフェッショナルのミニトーク」、「海といつまでもスペシャル記念撮影会」、「お魚クイズ」を実施しました。



海のプロフェッショナルのミニトーク



お魚クイズ

秋には、開館30周年記念企画展「港・横浜の1980年代 横浜港のシンボルができるまで」を開催しました。帆船日本丸、赤レンガ倉庫、横浜ベイブリッジが、1980年代に横浜港の新しいシンボルとして整備された経緯を当時の写真や模型で紹介しました。また関連事業として学芸員による展示解説と横浜港ポートガイド座談会、ガイドツアー「ハマの80年代を歩く」を実施しました。冬には進水90周年を迎えた帆船日本丸の航跡を紹介した展示「90th進水記念日 日本丸写真展」を実施しました。



横浜港ポートガイド座談会

柳原良平アートミュージアムでは年3回、特集展示を開催しました。柳原良平が好きだった内外の客船を描いた作品を展示した「ボクが好きな客船」を

オープン1周年記念として実施しました。8月には、船と酒を愛した柳原良平が描いた、客船やバーで海を眺めてくつろぐシーンの作品を展示した「海を見ながら…」、年明けにはお正月に合わせた十二支などおめでたい作品を展示した「十二支と宝船」を開催しました。

展 覧 会 名	会 期
開館30周年記念展示「横浜みなと博物館の30年」	4月21日～10月31日
横浜開港160周年記念「写真でたどる横浜港の10年」	6月1日～6月16日
開館30周年記念企画展「オドロキ！日本・海の世界と開発～海といつまでも」	7月15日～9月29日
開館30周年記念企画展「港・横浜の1980年代 横浜港のシンボルができるまで」	11月2日～1月13日
「90 th 進水記念日 日本丸写真展」	1月18日～2月28日
柳原良平アートミュージアム特集展示名	会 期
オープン1周年記念 ボクが好きな客船	3月26日～8月25日
海を見ながら…	8月27日～12月22日
十二支と宝船	1月1日～3月22日

(3) 教育普及事業

年間を通して小・中学生及び大人を対象とした船の工作教室や海図教室など各種教育普及活動を積極的に行いました。毎年夏休みに実施している「船と港の夏休み自由研究」には、多くの小学生の参加がありました。市内の小学校高学年向けには、海と船に親しむ活動を1年間通して行う「横浜みなとキッズクラブ」(全7回中、1回は新型コロナウイルス感染症防止対策のため中止)を実施しました。



横浜みなとキッズクラブ造船所見学会

また、入館者向けに毎週土曜日はキッズのためのクイズラリー、6月、2月の日曜日には、大人のためのクイズラリーを実施してリピーター増、入館者増に努めました。そのほか土、日、祝日に教育活動ボランティアの協力で、子供やファミリー層などを主な対象にした船の折り紙教室やペーパークラフト教室を開催し、参加者から御好評をいただきました(新型コロナウイルス感染症防止対策による臨時休館のため、折り紙教室、ペーパークラフト教室は2月11日(火・祝)、クイズラリーは2月28日(金)以降中止)。

今年度は柳原良平アートミュージアムオープン1周年であったため、これを記念し「柳原良平のアニメーション作品上映会」を実施しました。なお、展示案内ボランティアを募集し新たに14名が活動を始めました。

4 みなとの賑わい創出事業

(1) 水辺の事業

都心のインナーハーバーに立地する好条件を生かした、水辺に親しむ体験型事業を実施し、みなとの賑わい創出に貢献しました。

日本丸メモリアルパークの内水域及び自動車側水域を中心に、NPO法人横浜シーフレンズと連携し、シーカヤック教室を開催しました。昨年に引き続き、基本コースとしての半日コース、リピーター向けの中級コースとして、レスキュートレーニング講座、1日ツーリングコース、横浜港満喫ツーリングコース、親子体験教室を行いました。また、神奈川大学、横浜市立大学との連携教室を開催しました。(計38回開催、延べ729名参加)

横浜市カヌー協会・NPO法人横浜カヌー倶楽部と連携した、大人から子供まで広い世代で参加できるカヌーポロ教室を行いました。(計12回開催、128名参加)

7月6日(土)・7月7日(日)に実施した第8回「帆船日本丸杯カヌーポロ大会」には、11チーム、95名が参加し、日本丸カヌーポロ教室からも子供のチームが試合に出場しました。

なお、平成30年度の帆船日本丸の大規模修繕工事に伴い、シーカヤック教室とカヌーポロ教室は、4月については中止しました。また、新型コロナウイルス感染症の影響でシーカヤック教室は、2月末日から3月末日まで中止しました。



シーカヤック教室



カヌーポロ教室

(2) パーク利用事業 (イベント)

市民交流・リサイクル事業としてのフリーマーケット、吹奏楽演奏会をはじめとする音楽イベントなどを定期的で開催しました。

夏のピカチュウイベントや「新港ハロウィンシルバニアファミリー仮装パレード」などみなとみらい21地区のイベントに積極的に



夏のピカチュウイベント

参加しました。

また、親子向けのイベントやウォーキングイベント、音楽発表会などに対し、アリーナなどの場所の貸し出しを行いました。初の試みでは、タワー棟C・D間の駐車スペースを活用して劇団唐ゼミによる演劇興業への活用を進め賑わいの創出を図りました。



劇団唐ゼミによる興業風景

(3) ミュージアム・ショップ事業



帆船日本丸、横浜みなと博物館、柳原良平アートミュージアム及び横浜にちなむ商品を取り揃え、来場者の思い出となる商品をミュージアム・ショップで販売しました。お客様ニーズの把握、分析や売上向上を検討するため、職員プロジェクトチームによるショップ検討委員会を毎月開催しました。

(4) レストラン・カフェ事業

施設開館日に飲食サービスを提供するため、横浜みなと博物館内にレストラン・カフェを業務委託により運営しました。また、みなとみらい21地区の魅力づくりの一役を担うため、夜間の営業や季節に応じたアリーナでのビヤガーデン等の営業も展開しました。

5 緑地管理・活用及び研修施設事業

(1) 緑地の維持管理・活用

ア 安全管理

大型台風による強風で発生したパーク内の倒木や、折れた枝の撤去処置を速やかに行い二次災害の防止を図りました。また同様の危険が予測される樹木の枝下ろしを事前に行い来場者の安全確保に努めました。

パーク内に営巣するカラスや蜂からの危害を防止するため、危険な範囲を見極めた上で自然環境の保全と



強風による倒木



蜂の巣撤去



強風による枝折れ

安全を両立させた駆除を行いました。

イ 環境管理

お客様に快適に見学していただくため、年間を通じてパーク内に水耕プランター60個を配置し、季節に応じて年4回の植替え管理を行いました。また、さくら通り歩道に横浜市が設置した企業協賛花壇（みなとみらい21「まちかど花壇」）の維持管理を受け持ち、職員による手入れとともにグリーンボランティア活動により地域環境の美化改善に貢献しました。



みなとみらい21まちかど花壇

ウ 撮影

緑地や船内を利用したCM撮影、テレビドラマ、イベントなどの撮影で合計111件の御利用をいただきました。



船内での
ドラマ撮影風景

(2) 研修施設（訓練センター）の管理運営

本施設は駅からのアクセスも良く、利用者から好評を得ています。

元年度は、第1・2会議室の机とイスを全てリニューアルし、第3会議



机・イスをリニューアルした第1会議室

室と小会議室は部分的にリニューアルを行いました。

また、合わせてホワイトボードなどの機材の更新を行いました。第3会議室及び小会議室が撮影やイベントの控室としての一体利用が増えました。リニューアルを機に新たな利用促進を図ります。

なお、会議室の利用では、2月以降、新型コロナウイルス感染症の影響でキャンセルが相次ぎました。

6 集客増に向けた重点取組

主な取組は、次のとおりです。

(1) 共同事業体を構成している株式会社JTBコミュニケーションデザイン（以下「JCD」という。）と連携した取組

毎月、月次決算である魅力づくり集客アップ会議を実施し、課題の早期把握とその解決に努め、施設の魅力づくりや収入の確保、支出の抑制など経営改善を図りました。

ア スマートフォンやインターネットによるアンケートを実施し、利用者ニーズの把握に努めました。

イ JCDの経験や他施設の事例等のアドバイスにより、自動販売機ベンダーとの契約内容の改善並びに類似施設のWebサイトによるプロモーション事例を検討しました。（次年度継続）

ウ 毎月、ショップ検討委員会を開催し、ショップデータを複数の視点で整理・分析して売上傾向や課題を把握するとともに、柳原良平関連新商品の開発販売により売上アップにつなげました。

エ JTBグループのリソースを活用して、団体営業販促ツールであるJTBオリジナル企画商品「JTBならではの（前年度商品名地恵のたび）」に引き続き参画し、全国から集客を図りました。

オ 東京駅丸の内南口JPタワーKITTE 地下1階観光案内所「東京シティアイ」（1日平均約4,000人利用）のパンフレットスタンドへパンフレット及び横浜みなと博物館企画展チラシを8月10日（土）から1か月間掲出し、告知宣伝を行いました。

(2) 学校や各団体への取組

ア 首都圏を中心にした各法人・団体、各旅行業者に対して約50か所訪問営業を実施しました。

イ 学校向けに帆船日本丸・横浜みなと博物館を利用した「教育旅行用キャリアプログラム」パンフレットを作成し北海道、東北、関東、首都圏、中部、神奈川県内の小中高に約5,200件のダイレクトメールを発送しました。



出展した横浜うみ博

ウ 横浜観光コンベンション・ビューローの協力のもと、6月に旅行会社の教育旅行営業担当者30名の視察受け入れを行いました。また、同ビューローの教育旅行事業と連携し各地域の旅行会社へのPRを実施しました。

エ 海洋都市横浜うみ協議会の一員として、7月20日（土）・21日（日）「海洋都市横浜うみ博2019」に出展しました。

オ 神奈川県が行っている京浜臨海部協議会へ参加し、横浜、みなとみらい21地区への集客を図りました。

(3) インバウンド（訪日外国人客）集客増に向けた取組

訪日外国人観光客獲得への取組として、英語リーフレットやWebサイト、Facebook等での情報発信力を高め集客につなげました。7月～9月に実施した「Welcome to NIPPON MARU and Yokohama Port Museum キャンペーン」では、外国人入館者約2,000名にステッカー及びペットボトル飲料水のプレゼントを実施しました。

また、8月に外国人向けWebサイト「Savvy Tokyo」への記事・広告掲載をしました。

併せて、横浜観光コンベンション・ビューローと連携し、マレーシア・シンガポールの訪日プロモーション会社の取材受入れ（イスラム対応）をしました。

今年度2～3月は新型コロナウイルス感染症拡大防止のための休館の影響を受けましたが、外国人年間有料入館者数5,505人（対前年105.5%）の取扱いがありました。またキャンペーン期間中は、外国人有料入館者数2,508人（対前年115.1%）の取扱いがあり、有料入館者数の底上げに貢献しました。

(4) 広告

対象を絞った情報誌に記事や広告を掲載し、集客増を図りました。

ア 夏休みの子供工作など体験型事業を紹介する「かながわサイエンスサマー」に掲載しました。

イ 学校修学旅行誘致用「月刊教育旅行」に掲載しました。

※発行部数15,000（購読者—学校の先生、外国の在日政府観光局、官公庁自治体、旅行会社・宿泊施設等観光関連業者）

ウ 観光業界紙「週刊観光経済新聞」の「中学校教育旅行特集（9月）」に記事・広告掲載しました。

※発行部数59,000（購読者—学校、自治体、旅行会社・宿泊施設等観光関連業者）

エ 観光客向けの「MM線マップ」へ情報掲載しました。

オ 東京・ミュージアムぐるっとパス2019へ参加し、広告の掲出、パスの販売と利用を開始し、3,388名に御利用いただきました。



MM線マップに情報を掲載



東京・ミュージアムぐるっとパス2019

(5) 広報活動の強化

ア ホームページリニューアル3か年計画の3か年目に当たり、Webサイトの更新、公式Facebookやアプリのニュース等SNSでの広報活動を強化しました。

イ 帆船日本丸の大規模修繕に合わせ、新聞、海事関連雑誌、一般雑誌、タウンニュース、観光情報サイト等へ積極的に広告掲載等を働きかけました。

7 組織運営の質的向上に向けた取組

(1) 風通しの良い職場作り

職員一人ひとりが、必要な情報を共有できるよう、毎朝の朝礼で連絡事項の伝達、報告等を行いました。毎週木曜日には管理職業務調整会議を実施し、懸案や課題の解決を図るとともに、職員ミーティングを定例開催しました。

また、施設の委託業務を受託し、スタッフを常駐させている警備、設備、清掃事業者と毎月1回委託業務連絡会を開催し、コミュニケーションを深め、施設の安全な維持・管理を図りました。

(2) 各種研修会の実施・参加

財団職員の能力開発・スキルアップや人権啓発、コンプライアンス等を目的に各種の研修会等を実施（延べ99人参加）するとともに、横浜市や他団体が主催する研修会等に参加しました。（延べ18人参加）

運営協力をいただいているボランティアの研修会も開催してスキルアップ等を図りました。（延べ185人参加）

(3) 防災訓練の実施



1月の文化財防火デー防災訓練

10月23日（水）の秋の訓練（34人参加）と1月24日（金）の文化財防火デー（41人参加）に西消防署指導のもと、避難誘導、初期消火や情報伝達等の防災訓練を実施し、減災意識の向上に努めました。

また、参加予定でした3月2日（月）開催のみなとみらい21地区内の合同防災訓練は、新型コロナウイルス感染症防止のため中止となりました。

(4) アンケート調査（モニタリング）の実施

アンケート実施日及び回答数

11月13日（水）～16日（土） 回答数 300件

調査結果の主な内容は次のとおりとなりました。

ア 来場回数

2回以上来場したリピーターは、帆船日本丸が12.5ポイント、横浜みなと博物館が2.9ポイント、日本丸メモリアルパークが16.5ポイント、それぞれ昨年と比べ減少しました。新規顧客の誘致策の強化と合わせて、大規模修繕工事が元年度で終了した帆船日本丸と柳原良平アートミュージアムを更に活かした魅力づくりに取組、来場者数向上に努めます。

イ 来館者の期待（複数回答全406件）

「日本丸への興味」、次いで「横浜みなと博物館への興味」、「船・港への関心」、「柳原良平アートミュージアムへの興味」、「日本丸メモリアルパークへの興味」となっています。

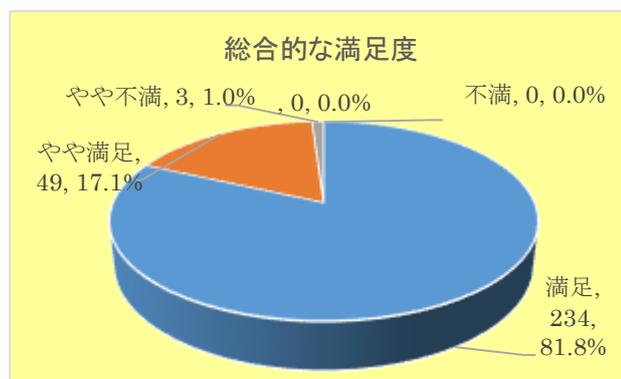
昨年度は、オープンしたばかりの柳原良平アートミュージアムへの興味が87人22.6%でしたが今年度は58人14.3%に減少しました。特集展示をはじめ、常設展示にもさらに工夫を凝らすとともに、柳原良平アートミュージアムの活用を強化していきます。

ウ 総合満足度（286人回答 カッコ内は前年度数値）

満足・やや満足の合計
283人98.9%(270人98.2%)
の評価をいただきました。

なお、不満は0人、やや不満3人で「記念企画展の内容がいまいち」「もう少し柳原さんの作品が見たかった」の意見をいただきました。

引き続き目的・目標意識を持って、維持・向上を目指して努めていきます。



8 事業一覧表

【帆船日本丸事業】	
帆船日本丸公開 4月～11月	船内を年間209日一般公開、公開日は次の日を除く毎日 ・月曜日（祝日にあたる時は公開、翌日が休館日） ・年末（船体整備期間中に含むため、なし） ・船体整備（12月2日から2月28日）
総帆展帆（11回） 延べ1,072人のボランティアが参加	4月27日（土）、5月19日（日）、6月2日（日）、 7月15日（月・祝）、8月25日（日）、9月16日（月・祝）、 9月29日（日）、10月14日（月・祝）、10月27日（日）、 11月4日（月・振）、11月17日（日）
親子展帆	親子展帆 5回実施（参加者111人）
満船飾（11回） 国民の祝日に実施	4月29日（昭和の日）、5月1日（即位の日）、5月2日（休日）、 5月3日（憲法記念日）、5月4日（みどりの日）、5月5日（こどもの日）、 6月2日（開港記念日）、7月15日（海の日）、8月11日（山の日）、 9月23日（秋分の日）、11月3日（文化の日）
海洋教室	半日・1日コース合計10回 参加者495人 半日コース：8月18日36人 1日コース：4月15日40人、4月16日40人、5月8日62人、 5月9日66人、8月14日33人、8月17日31人、9月27日83人、 10月17日76人、10月19日28人 宿泊コース合計19回 参加者1,245人 5月14日～15日92人、5月23日～24日66人、5月27日～28日62人、 5月30日～31日77人、6月4日～5日56人、6月8日～9日16人、 6月12日～13日42人、6月20日～21日55人、6月29日～30日100人、 7月2日～3日98人、7月6日～7日100人、7月9日～10日90人、 7月11日～12日51人、9月5日～6日69人、9月12日～13日65人、 9月19日～20日48人、10月24日～25日46人、11月9日～10日25人、 11月14日～15日87人
教育普及事業	実施回数7回、参加者192人 大規模修繕工事報告会 5月6日 25人 日本丸でロープを学ぼう！作ろう！ 8月1日～4日 14人 夏休み特別講座 滑車の働き 8月23日 31人 折り紙で日本丸を作ろう！ 10月22日 40人 船長講座『トールシップの帆走艀装』 11月9日 9人 明海大学出張ロープワーク教室 11月20日 80人 卒寿記念講演会 1月26日 33人
総帆展帆協力者登録数	延べ2,312人 総帆展帆協力者として登録されている市民ボランティア
帆船日本丸船内ガイド	48人 登録ボランティアによる船内ガイドを実施

甲板清掃ボランティア等	178 日の作業日に延べ 622 人のボランティアがブラスワーク（真ちゅう磨き）や整備作業を実施。また、ベンディング・アンベンディングに 3 日間延べ 73 人のボランティアが参加。
-------------	---

【横浜みなと博物館事業】	
常設展示事業 4 月～3 月	年間 279 日一般公開、公開日は次の日を除く毎日 月曜日（祝日にあたる時は公開、翌日が休館日） 年 末（12 月 29 日から 12 月 31 日まで） 害虫燻蒸期間（1 月 28 日～1 月 31 日）
展示案内 4 月～3 月	展示案内ボランティア（登録ボランティア 37 人）による常設展示の説明 ※新型コロナウイルス感染症防止対策のため、2 月中旬より縮小、2 月 28 日から中止
柳原良平アートミュージアム事業	1 オープン 1 周年記念特集展示「ボクの好きな客船」 会期：3 月 26 日（火）～8 月 25 日（日） 32,644 人 2 特集展示「海を見ながら…」 会期：8 月 27 日（火）～12 月 22 日（日） 35,934 人 3 特集展示「十二支と宝船」 会期：2020 年 1 月 1 日（水）～3 月 22 日（日） 5,608 人
特別展示事業	1 開館 30 周年記念展示「横浜みなと博物館の 30 年」 会期：4 月 21 日（日）～10 月 31 日（木） 50,231 人 2 横浜開港 160 周年記念「写真でたどる横浜港の 10 年」 会期：6 月 1 日（土）～6 月 16 日（日） 3,737 人 3 横浜みなと博物館開館 30 周年記念企画展「オドロキ！日本・海 の環境と開発～海といつまでも」 会期：7 月 15 日（月・祝）～9 月 29 日（日） 12,522 人 関連事業：MSC クイズイベント 8 月 2 日（金）（主催：MSC（海洋管理協議会）30 人／海のプロフェッショナルのミニトーク 8 月 6 日（火）～8 日（木）、9 日（金）、10 日（土）、14 日（水）～16 日（金）（講師：帆船日本丸一等航海士田中識啓氏他 10 人）246 人／海といつまでもスペシャル記念撮影会 9 月 3 日（火）～28 日（土） 約 2,800 人／海洋研究開発機構横浜研究所見学会（親子向け）7 月 31 日（水） 36 人海洋研究開発機構横浜研究所見学会（一般向け）9 月 11 日（水） 20 人／海といつまでもクイズラリー 7 月 5 日（月・祝）、8 月 25 日（日）、9 月 16 日（月・振休）、9 月 29 日（日） 1,347 人 4 横浜みなと博物館開館 30 周年記念企画展「港・ヨコハマの 1980 年代 横浜港のシンボルができるまで」 会期：11 月 2 日（土）～1 月 13 日（月・祝） 7,842 人 関連行事：横浜港ポートガイド座談会 12 月 7 日（土）（講師：横浜港ポートガイド 3 人）71 人／ガイドツアー「ハマの 80 年代を歩く」（共催：横浜シティガイド協会）67 人／学芸員による展示解説 計 84 人 5 「90 th 進水記念日 日本丸写真展」※博物館 1 階ロビーで開催 会期：1 月 18 日（土）～2 月 28 日（金） 9,859 人

<p>教育普及事業</p>	<p>教育普及ボランティアの協力を得ながら次の事業を実施（登録人数 26 人）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 柳原良平のアニメーション作品上映会 4月6日（土） 66人 2 横浜みなとキッズクラブ 横浜みなと博物館や日本丸、内水域、横浜港をフィールドにした体験型活動と同じメンバーで1年を通して行い、身近なところから海と船と港、くらしと環境などに親しみと関心を深める小学生（高学年）向け事業。延べ212人 ワークシートを使った博物館・日本丸・パーク探検・造船所見学会、工作教室、シーカヤックなどを6回実施した。 また、活動の中で作成した新聞を応募し、（公財）日本海事広報協会ジュニア・ SHIPPING・ジャーナリスト賞（佳作）を受賞。※活動7回目の「展示発表会・修了式」は新型コロナウイルス感染症防止対策のため中止 3 なるほど！ミナト散歩ー開港の道コースー 5月11日（土）21人 4 開港160周年記念スペシャルクイズラリー 6月2日（日）309人 5 ポンポン船工作教室 7月25日（木）52人 6 ソーラーで動く船工作教室 7月25日（金）59人 7 モーターで動く船工作教室 7月27日（土）30人 8 船と港の夏休み自由研究 8月9日（金）～18日（日）37人 9 親子の海図教室 8月3日（土）136人 10 大人の海図教室 11月2日（土）28人 11 キッズのためのクイズラリー（小・中学生向け／年間） 高校生以下共通券100円の土曜日の小・中学生向け事業 展示をよく見て答えるクイズラリーを実施42回990人 12 楽しい船の折り紙教室（こども向け）41回1,590人 13 学芸員のワンポイント展示解説 学芸員が常設展示を掘り下げて解説 11回88人 14 サンデーペーパークラフト教室（ファミリー向け） 41回1,961人 15 大人のためのクイズラリー（大人向け）3回 131人 16 ホリデーペーパークラフト教室（ファミリー向け）3回220人 17 ホリデー船の折り紙教室（ファミリー向け）6回471人 <p>※11、13は2月28日（金）以降新型コロナウイルス感染症拡大防止による臨時休館のため中止 ※12、14、16、17は2月11日（火・祝）以降新型コロナウイルス感染症防止対策による臨時休館のため中止 ※3月下旬に予定していた「春休み・楽しい船の見学会」は新型コロナウイルス感染症防止対策のため中止</p>
---------------	---

<p>調査・研究・収集・出版 活動事業</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 資料調査・研究等事業 横浜港を中心とした資料の調査、研究、収集、整理、保存を行い、その成果を公開及び展示・教育活動に反映。また、資料整理のデータベース化を推進。 寄贈 923 点、購入 47 点、採集 427 点 2 出版活動 年間行事予定表、企画展「港・横浜の 1980 年代」出品目録、柳原良平アートミュージアムオープン 2 周年記念冊子「柳原良平が語る創作活動と船の絵」、博物館開館 30 周年・ボランティア発足 10 周年記念「横浜みなと博物館 30 年のあゆみ・横浜みなと博物館ボランティア 10 年のあゆみ」、常設展示室解説冊子「横浜みなと博物館・帆船日本丸・柳原良平アートミュージアム」展示案内（和英併記）などを発行しました 3 資料貸出・レファレンス 資料の貸出・閲覧、写真撮影のほか、レファレンスサービスを実施。 資料（画像）貸出：（公財）海外日系人協会、（株）テレビ朝日、新港ふ頭客船ターミナル（株）など 25 件 109 点 資料特別利用：町田市民文学館、立正大学など 9 件 資料貸出：三菱みなとみらい技術館、山梨県立博物館の 2 件、2 点、資料・画像などを貸出。
<p>ライブラリー事業</p>	<p>横浜港や船、海に関する図書・逐次刊行物等を収集・整理・公開し、小学生から専門家に学習、研究の場を提供。 データベース化の蔵書情報はライブラリー、Web サイトで公開。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 公開日・公開時間 博物館と同様 2 利用方法（料金等） 博物館の入館者の利用は無料。ライブラリーのみ利用は 1 人 100 円。コピーサービス（有料）のほか、レファレンスサービスを実施。 3 収集・整理 横浜港、港運、海運、船舶、航海等に関する図書、逐次刊行物等を収集（購入 74 冊・寄贈 183 冊・その他 13 冊）・整理して配架しました。 また、図書のデータベース化（約 27,306 冊）を進めるとともに、保守点検を行い、良好な状態を維持。臨時休館期間中に書庫保管の図書約 20,000 冊の一斉蔵書点検を実施しました。
<p>施設外部貸出</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 特別展示室 横浜帆船模型同好会 計 1 件 2 常設展示室 1 階展示スペース 関東海事広報協会、海上保安庁交通部、（公財）横浜観光コンベンション・ビューロー 計 3 件
<p>その他</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 大学の博物館見学実習への対応や出張公園などの館外活動を実施 7 件 74 人 2 川崎市市民ミュージアム資料レスキュー活動への参加 4 回

【みなとの賑わい創出事業】	
<p>水辺の事業</p> <p>シーカヤック教室 カヌーポロ教室 カヌーポロ大会</p>	<p>水辺の事業の柱として、水域及び汽船側静水域で、シーカヤック教室、カヌーポロ教室、カヌーポロ大会を開催。なお、平成30年度の帆船日本丸の大規模修繕工事に伴い、シーカヤック教室とカヌーポロ教室は、4月については中止しました。また、新型コロナウイルス感染症の影響でシーカヤック教室は、2月末日から3月末日まで中止しました。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 シーカヤック教室の通年開催 38回の開催で729人が参加、利用料金は前年度比98% 2 カヌーポロ教室の開催（大人は新規） 12回の開催で128名が参加 3 第8回帆船日本丸杯カヌーポロ大会（関東ポロリーグ神奈川大会）の開催 7月6日（土）～7日（日） 11チーム95名が参加
<p>パーク利用事業イベント</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 フリーマーケット9回（雨天・荒天で中止2回） 2 吹奏楽演奏会13回（実施10回、中止3回） 3 ゴールデンウィークイベント（ファミリー向け）音楽、参加体験事業・工作教室、ヴィレッジヴァンガードの音楽イベント（貸出） 4 横浜市のプロモーション事業 積極的な誘致と連携した開催「ピカチュウ大量発生チュウ！」 5 横浜みなとみらい21関係イベント 「アマモの種まきと植え付け会」「新港ハロウィンシルバニアファミリー仮装パレード」など 6 新規の劇団唐ゼミによる演劇興行やHONUダンスフェスティバルなど
<p>ミュージアム・ショップ事業</p>	<p>帆船日本丸、横浜みなと博物館、柳原良平アートミュージアム及び横浜にちなむ商品を販売 毎月、お客様ニーズの把握、分析や売上向上を検討するため、職員プロジェクトチームによるショップ検討委員会を開催</p>
<p>レストラン・カフェ事業</p>	<p>飲食サービスを提供するため、レストラン・カフェを運営 みなとみらい21地区の魅力づくりの一役を担うため、夜間の営業や季節に応じたアリーナでのビヤガーデン等の営業</p>
<p>緑地の維持管理・活用</p>	<p>パーク来場者及び地区来街者向けの景観向上、賑わいの創出。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 緑地 博物館屋上は幼児から高齢の方までが憩える場所として、緑地を管理しています。 2 撮影 利用件数 111 件 <div data-bbox="1050 1713 1396 1966" data-label="Image"> </div> <p>シロツメグサと子供</p>

<p>グリーンボランティア</p>	<p>近隣地域住民を中心として日本丸メモリアルパークの緑花整備に理解ある協力者 12 名（登録者数）が、年間を通じて緑化のボランティア活動を行いました。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 活動日（毎月第 1・第 3 土曜日午前中） 2 主な活動内容 <ol style="list-style-type: none"> (1) 花壇・プランターの植栽手入れ (2) 横浜みなと博物館屋上芝生の手入れ (3) 博物館ガラス窓「緑のカーテン」づくり 3 その他の活動 <p style="text-align: right;">さくら通り歩道清掃</p> <p>パーク内及び周辺歩道の清掃、さくら通り歩道上「まちかど花壇」緑花維持管理作業</p> 
<p>研修施設（訓練センター）の管理運営</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 貸出期間 12 月 29 日～1 月 3 日、1 月 27 日～29 日を除く全期間 ※設備点検のため部分的に貸出不可日あり 2 年間稼働率 <p>第 1・第 2 会議室 56.6%、第 3 会議室 50.6%、小会議室 33.9%</p> 3 会議室の利用では、2 月以降、新型コロナウイルス感染症の影響でキャンセルが相次ぎました。
<p>【集客増に向けた重点取組】</p>	
<p>団体への取組</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 タイムリーな情報発信・訪問営業の継続 <ol style="list-style-type: none"> (1) 横浜市内、神奈川県内の学校遠足・学校行事等誘致 (2) 首都圏小・中・高等学校遠足、社会見学の誘致 (3) 全国からの修学旅行誘致のための情報発信の継続 月刊「修学旅行」への継続的な広告掲載 (4) 横浜観光コンベンション・ビューローの教育旅行誘致事業 (5) 首都圏を中心とした学校・団体・旅行各社への営業等 2 来館誘致資料 <ol style="list-style-type: none"> (1) 関東近県や首都圏を修学旅行候補地としている北海道、東北、中部などの小・中学校（一部高等学校）に来館誘致のダイレクトメール発送（5,200 件） (2) 配布資料は地域や学校種（小・中・高・特別支援学校）それぞれの特性に応じて内容を工夫 (3) 営業用資料を別途作成し、いつでも携行できるよう準備し活用（旅行社・学校・教育委員会向け） 3 Web サイトでの情報提供と下見 <ol style="list-style-type: none"> (1) 団体向け、学校向け Web ページ等を常時更新 (2) 横浜市のふれあいコンサート向け Web ページ開設 (3) 下見の重視と配布資料の改善 4 料金施策 単館券の通年販売 5 旅行会社向け取組

	<p>JTB、日本旅行等旅行会社商品企画・仕入造成・営業部門へ情報発信し、個人・団体観光客への情報提供及び集客チャネルとして連携強化</p> <p>6 訪日観光客誘致の取組と多言語QRトランスレーターを活用</p> <p>7 横浜観光コンベンション・ビューローと連携し、海外で開催される観光展などで海外メディアへの情報提供</p>
<p>横浜市・近隣施設等との連携</p>	<p>1 施設の認知度の向上による来館促進</p> <p>(1) 西区を始めとした地域の市民活動支援センターの利用団体などへの施設情報・イベント情報の提供</p> <p>(2) 各区のイベントと連携</p> <p>2 観光客（宿泊客）の来館を促進</p> <p>(1) 近隣ホテルの宿泊者向け割引チラシの配布</p> <p>(2) 宿泊プランの企画提案</p> <p>(3) 当館の情報提供</p> <p>3 イベントや展覧会等の共同実施及び告知 (近隣施設連携による相互来館促進)</p> <p>(1) 横浜乗りものフェスティバル（クイズラリー） 原鉄道模型博物館・日産グローバル本社ギャラリー、三菱みなとみらい技術館・日本郵船歴史博物館・横浜市電保存館</p> <p>(2) みなと春 MARCH キャンペーンに参加、イベント情報を広報</p> <p>(3) 東京・ミュージアムぐるっとパス 2019 に参加し、パスの販売と利用、告知を開始</p> <p>(4) 海と山と丘の公園交流 日本丸メモリアルパーク（横浜市）、神奈川県立相模原公園（相模原市）、国営アルプスあづみの公園（長野県安曇野市・長野県大町市）の3公園交流</p> <p>ア 相模原公園&日本丸メモリアルパーク&あづみの公園共同写真展（花壇の設置期間7月から10月 応募期間1月、写真展示 3月）</p> <div data-bbox="683 1326 1099 1603" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="1125 1373 1390 1525">相模原公園写真コンテストのテーマのひとつ、サンパチェンスの花壇を日本丸メモリアルパークにて展示</p> <p>イ 相模の大凧ミニチュア展示（1月）</p> <div data-bbox="683 1675 1099 1984" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="1125 1789 1390 1877">横浜みなと博物館1階フリーゾーンに相模の大凧ミニチュアを展示</p>

【組織運営の質的向上に向けた取組】

各種研修会の実施及び参加

主催部分の財：財団、他：市又は団体

月 日	研 修 名	参加者数	主催
4月13日 4月14日 4月20日	春期新規展帆ボランティア養成訓練	17人	財
4月23日	博物館ボランティア館外研修	19人	財
5月10日	県博物館協会総会	1人	他
5月23日	労働保険・社会保険研修会	1人	他
5月29日	健康保険・厚生年金事務説明会	1人	他
5月25日 5月29日 6月15日 7月6日	新規展示案内ボランティア研修	74人	財
6月4日	外郭団体の経営向上のための効果的なPDCAサイクルの運用研修会	1人	他
6月13日	公益法人協会主催セミナー：立ち入り検査	1人	他
6月25日	みなとの博物館ネットワーク・フォーラム総会	1人	他
7月3日	全国博物館館長会議	1人	他
7月5日	「海の学びミュージアムサポート」情報交換会	1人	他
7月8日	中小企業働き方改革セミナー	1人	他
9月3日	中小企業働き方改革セミナー	1人	他
10月25日	年末調整セミナー	1人	他
11月27日	港湾局人権啓発研修	1人	他
11月28日	秋期博物館ボランティア館外研修	37人	財
12月4日 12月5日	みなとの博物館ネットワーク・フォーラムスキルアップ交流会	1人	他
12月10日	神奈川県博物館協会研修会（水損資料補修研修）	1人	他
12月19日	JTBコミュニケーションデザイン管理職研修	1人	他
12月20日	浜銀総研経済講演会	1人	他
1月18日	職員シーカヤック体験研修	1人	他
1月30日 1月31日	博物館ボランティア障がい理解研修	38人	財
2月6日	全国歴史民俗系博物館協議会関東ブロック集会（水害と博物館）	1人	他
2月11日 2月12日 2月21日	職員研修（人権研修）	46人	財
3月19日	職員研修（個人情報保護研修）	53人	財